

# 国際文化フォーラム通信

2013年4月 no. 98

# 人をつない本語

●TJFは大連教育学院と共同で日本語教材『好朋友』を編集・制作し、東北三省における日本語教育の促進に努めてきました。●『好朋友』全5巻が完成、出版されて3年半。多文化社会に生き、人と人との関係をつくることばの学びを提唱するこの教材は、教室に何をもたらすことができるのでしょうか。●『好朋友』が日本語の学びに与える効果を検証します。

#### 【特集】

#### 人をつなぐ「ともだち|日本語……2

#### **TJFニュース**-----10

- □ TJFの事業を支えてくださっている皆さま
- □ さまざまな「りんご」エピソード
- □ 日米の高校生がマンガを通じて交流
- ☑ K-POPを韓国の高校生と踊ろう!

......<sub>ほか</sub> 掲示板......16



『好朋友』の巻頭には、ストーリーマンガ「大連物語」が掲載されています。全5巻を通して102ページにわたる連載です。「大連物語」の舞台は中国大連市。父親の転勤で横浜からやってきた中学生の高橋美佳が海辺の公園で偶然、王志鵬と出会う場面から始まります。石につまずいて転んだところを助けてくれた王志鵬に美佳は「ありがとう」と言うのですが、きょとんとしている彼の様子に気づき、「谢谢」と言いなおします。2人の出会い、新しいことばとの出会いです。美佳と王志鵬を含む中学生男女6人の友情物語が紡がれ、横浜に戻る美佳をかぐや姫の姿に重ねて5人が見送ります。美佳から届いた手紙を読んで、5人が遠い日本、横浜に思いを馳せるシーンで大連物語は終わります。

出会いから友情を深めていく過程で、中学生たちは人間関係を 築くためのことばを多く使います。自己紹介に始まり、誘ったり、励ま したり、心配したり、ケンカを仲裁したり……。

全巻を通じて、中国の中学生だけでなく、アメリカ、オーストラリア、韓国、モンゴル、ロシアで日本語を学ぶ中学生や中国語を日本で学ぶ中学生が登場します。互いの言語を学ぶ日中の中学生、日本語を学ぶことを通じてつながっている世界各国の中学生が、自分のこと、家族のこと、学校のこと、食のことなどを語ります。日本語を仲立ちに、彼らのさまざまな文化にふれ、世界を広げることができます。

#### 中国全土に広げるために

『好朋友』を使った授業は、大連市以外にも少しずつ広がり始めて

います。TJFは、外語教学与研究出版社から市販されたのを契機に、『好朋友』を中国全土に広げていきたいと考えています。そのためには、さまざまな活用を示すことが必要だと考え、2月15日(金)~21日(木)、

東北部の吉林省、黒龍江省、遼寧省から5名の教師を日本に招き、 カリキュラムづくりに取り組んでもらいました。

その来日メンバーのなかで日本語教育の実施状況が全く異なる おふたりの先生と『好朋友』の日本側編集委員長を務めた加納陸 人文教大学教授に、中国での実情と、『好朋友』が教室に何をもた らしているかについて語り合っていただきました。

加納……おふたりの学校での日本語授業の実施状況について教えてください。

自……私の高校では外国語は必修選択で、生徒は日本語か英語を選択します。第二外国語(二外)という科目はありませんが、課外クラブとして行っている日本語の授業を二外として位置づけています。日本語クラブが始まったのは2011年10月で、最初の登録者は50人でした。TJFから贈っていただいた『好朋友』が50冊でしたので、ぴったりだったんです。それが、次の学期には100人に増え、その次の学期には200人にもなりました。担当するのは私ひとりですし、200人が入れる教室もないので、二つのクラスに分けて、隔週で教えています。こんなに人気が出るとは思ってもいませんでした。授業がおもしろいという噂が広がっていったみたいですね。今では、日本語はいちばん人気のあるクラブになりました。

加納……それはすごい増え方ですね。それまで人気のあったクラブは何ですか。

**白**……コスプレクラブです。自分で洋服を作ったり、どこかで買ってき





文教大学教授。『好朋友』編集委員長。 1970年代から中国の日本語教育に携わる。中国の中高校の一外でもっともよく使われている日本語教科書『日語』の日本側編集委員長も務めた。

#### 王頴(おう・えい)

遼寧省大連市第31中学日本語教師。教師歴5年。第一外国語(一外)としての日本語を教えて2年目に、学校に二外日本語が導入され、現在は一外、二外の日本語をともに教えている。『好朋友』使用歴、3年半。



たりします。生徒は日本のアニメやマンガにとても興味をもっていて、登場人物と同じ恰好をしたがるんです。そのほかで人気があるのは、卓球、サッカー、バスケットボールです。

加納……王先生のところはどうですか。

**王**……私の学校でも外国語は必修選択で、日本語か英語かどちらかを選べます。そして英語を選択した生徒は二外で日本語、日本語を選択した生徒は二外で英語を学びます。二外も必修ですから、生徒は必ず英語と日本語の両方を学びます。二つの言語を学ぶことを学校の特色にしたいと考えた校長が二外を導入しました。第一外国語(一外)は3年間、週に5コマありますが、二外は週に1~2コマで、2年間です。受験を控えた3年生では二外の授業はなくなります。

**加納**……おふたりとも一外と二外の両方を教えていらっしゃるわけですが、一外と二外では何が違いますか。

**白**……一外の大きな目標は受験です。一外の生徒たちはいつもプレッシャーのなかで日本語を学んでいます。教師も同じです。いい大学へ、できるだけたくさん送り込まなくてはと思っています。でも二外では教師も生徒もプレッシャーがない。だから楽しく教えられるし、楽しく学べます。日本語にふれることが、大学で日本語を専攻したい、また大人になってから日本語を学びたいと思うことにつながっていけばいいと思っています。いわば二外は将来の勉強の入り口をつくっているのです。

**エ**……私たちの生徒もリラックスした雰囲気で、いろいろな活動をしながら日本語を体験しています。英語のほかにもうひとつのことばを楽しく学べるので、生徒は満足感を覚えています。そして生徒が楽しんで勉強しているのを見て、教師も達成感が得られるんです。

加納……二外のいいところは楽しいことだけですか。

**白**……それだけではありませんが、楽しいことがいちばん大事だと

#### 好朋友カリキュラム作成日本研修

期間-----2013年2月15日(金)~21日(木)

参加者…… 遼寧省:安新華(大連市向応中学)、梅松竹(大連市第76

中学)、王頴(大連市第31中学) 吉林省:白艶菊(長春市11高校)

黒龍江省: 朴英姫 (ハルビン市朝鮮族第一中高校)

講師 …… 中新井綾子、武田育恵

内容 ……

ニ 二外の意義について共有した後、バックワードデザイン、can-doによる目標設定などを取り入れたカリキュラム作成に取り組んだ。5人でひとつのカリキュラムを作成するとともに、それぞれが事前に作成、実践した授業案を見直した。今回作成したカリキュラムは今後「好朋友web」(www.tjf.or.jp/haopengyou)に掲載する予定。



10:10@構近そごう

えっ!? ほんもののお花? 大連の花屋さんで売られているのはほとんどが造花ですよ、と梅先生。



#### 9:50@横浜駅

左から、白艶菊、朴英姫(ぱく・えいき)、王頴、安新華(あん・しんか)、梅松竹(うめ・しょうちく)の各先生。『好朋友』のもうひとつの舞台である横浜に行き、ゆかりの場所を訪ねた。





白艶菊(はく・えんきく)

吉林省長春市11高校日本語教師。 23年のベテラン。一外としての日本語を教えてきたが、2011年に二外の日本語を学校が導入したことをきっかけに二外も教え始めた。『好朋友』使用歴、1年半。

#### ▶▶▶2コマ進む



10:50 横浜駅東口を出発し、山下公園へ向かうシーバスに乗る。

思っています。気がついたら、日本語で少しコミュニケーションできるようになっていたとか、日本の文化に親しみをもつようになっていたとか、そうなればいいと思います。

**王……私の学校は二外も必修ですから、楽しいだけではだめで、評価も大事です。従来のペーパーテストだけではなくて、二外では常に生徒の様子を見ることが必要だと思っています。** 

白……プレッシャーを感じないで楽しく日本語を学んだほうが、勉強に対する意欲がもっともっと高まって、効果も上がると思います。

加納……そういったことばの学びができるのは、プレッシャーのない二外だからなのでしょうか。二外であればそうした学びができるということでしょうか。

**エ**……もちろんプレッシャーのない二外だからこそできることではありますが、二外であればすべていいのかというとそうではありません。二外の日本語は、二外の理念や目的に沿った教材『好朋友』があるからよかったといえます。二外の英語には教材がありません。だから、

一外と同じ教材で二外を教えています。二外で英語を選択している生徒の多くは、小学校のときに英語でつまずいた経験があります。そうした生徒たちに、一外と同じ内容、同じ方法で教えてもあまり効果的ではありません。その点、二外の日本語を選択している生徒たちは、『好朋友』を使って楽しく日本語を体験できて、とてもいいと思います。

**加納**……楽しく学ぶことは一外でも大事だと思いますね。

自……そうですね。そちらのほうがいいと思いますが、現実はなかなか難しいです。例えば、教科書を見てもよくわかりますが、一外でよく使われている『日語』(人民教育出版社発行)には受験に必要な語彙や文法が入っています。一方、『好朋友』はマンガと学習活動で構成されていて、異文化理解と生徒たちの意欲を



**11:00@シーバス** あっ、『好朋友』に載ってるみなとみらい!

写真を撮って生徒に見せなきゃ!! 朴、安、梅の各先生。

高める内容になっています。

加納……私は『日語』の編集にも携わったのですが、受験のためにつくったわけではないんですけどね……。結果としてそうなってしまったんですね。もう少し楽しみながら学べるといいんですが……。

**王**……今、教育課程の改革が進められていて、新しい課程標準(学習指導要領にあたる)の目標は総合的コミュニケーション能力を育成することです。でも実際には受験のために語彙や文法を習得することが目標とされています。理想と現実のズレがあります。教師と生徒はともに試験のプレッシャーがありますから、活動を入れたりして、楽しみながら学ぶ余裕はなかなかありません。

加納……ではどんな授業をしていますか。

**王**……『好朋友』には文法の説明は一切ありません。ペアやグループで行う活動がたくさん載っています。だからこれに沿ってやっています。 **亡**……私も二外では文法は一切教えません。表現のパターンは教え



11:10@山下公園

この日は雨から雪に変わるあいにくの天気。でも、東北部から来た先生方は、「寒いうちに入らないですよ」、なかでも朴先生(中央)は「ハルビンは零下20度ですよ」と元気いっぱいだった。

ますが、簡単な表現で、ちょっとした会話やあいさつができるようになればいいと思っています。それから、課外クラブは必修ではないので、日本語を学び続けたいと思わせる必要があります。ですから、好奇心がわくよういろいろと工夫しています。例えばひらがなを教えるときでも、一外では順番に覚えさせますが、二外では最初の授業で、「10分後にはひらがなが読めるようになります!」といって、五十音表を見せて、母音と子音の組み合わせに気づかせるようにします。でもすべての音は教えません。そうすると、生徒はもっと知りたい、この音は何だろうと自分で調べたりしながら、次の授業への期待が高まるのです。

加納……『好朋友』を採用した経緯は何ですか。

**ら**……二外カリキュラムの実験校を設置したいという計画が省にありました。ちょうど二外用の教科書『好朋友』もできたところでしたので、これを使ってやってみないか、という話が日本語教研員(指導主事)からあり、校長も二外日本語を導入したいと思っていたので始めることになったのです。

**王**……私の学校は大連にありますから、『好朋友』の地元です。二外といえば『好朋友』ですよ。大連市ではたくさんの学校で使っています。加納……『好朋友』は中学生向けにつくりました。マンガの主人公は中学生です。白先生の学校は高校ですね。生徒たちの反応はどうですか。

白⋯⋯主人公が中学生であっても生徒は全く気にしていません。マンガとして楽しんでいますし、『好朋友』は文化に重点をおいている

ので、中学生であるか高校生であるかはあまり関係ないですね。それに私もこの教材をメインにして、高校生の特徴にあったものを足したり、再構成して使っていますから。

加納……なるほど。『好朋友』の理念は、人間関係の温暖化(コミュニケーションを図る)と多文化共生です。『好朋友』を使っていて実際にそういうものを感じますか。人間関係の温暖化は、紹介されている活動を行うと、人間関係をつくる表現を使うようになっているのでわかりやすいと思うのですが、「多文化共生」はどうでしょうか。例えば、

第1巻の巻頭では、日本語を学んでいる 世界各国の中学生が登場して、それぞれ のことばで「こんにちは」といっています。こ





#### \*\*\*\*1回休<del>沙</del>

#### 中国の受験事情

中国では6月は「黒い6月」と呼ばれます。蒸し暑い時期で、しかも大学の全国統一入学試験(通称「高考」)が行われ、受験生は大きなストレスにさらされるからです。過酷な1ヵ月ですが、そこに至るまでもまた厳しい道の0です。

高校3年生になると、月曜日から土曜日まで1日8コマの授業に加え、 朝7時から授業開始まで、授業終了から夜9時あるいは10時までの自 習、日曜日にも補習があります。生徒たちはもちろんのこと、教師もまさ に休日なしとなるのです。

高考の受験科目は「3+X(サン・ジア・エックス)」で、主要3教科(国語、数学、外国語)と、歴史、地理、物理、化学、生命科学、政治のなかから1科目「X」を選ぶシステムになっています。

#### 高中三年级课程表

	周一					周二					周三					周四				
	-	=	Ξ	四	五		=	Ξ	四	五		=	Ξ	四	五		=	Ξ	四	五
1	物	生	政	历	历	化	外	外	外	政	物	化	朝	历	地	外	数	政	地	外
2	生	物	历	数	政	外	化	历	数	外	化	朝	历	朝	政	数	外	外	外	政
3	外	数	数	政	外	数	物	政	历	数	朝	生	政	地	历	物	生	地	数	数
4	数	外	外	外	数	物	数	数	政	历	生	物	地	政	朝	生	物	数	政	地
5	化	朝	地	朝	政	生	朝	地	朝	数	化	数	数	历	历	朝	化	历	朝	历
6	朝	生	朝	政	地	数	生	数	地	朝	数	外	外	外	数	化	外	外	外	朝
7	生	化	政	地	朝	朝	数	朝	数	地	外	化	历	数	外	外	朝	朝	历	外
8	数	自	自	自	数	外	自	自	自	外	物	自	自	自	政	化	自	自	自	地
	周五				周六				周日											
			向土					川八					/FJ LI							
		=	周五 三	四	五.		=	三	рч	五	_	=	三	四	五.					
1	一化			四朝	五数	一生			四政	五	一物	二外		四外	五地					
1 2		=	Ξ				=	Ξ					Ξ							
1 2 3	化朝物	朝化外	三地数外	朝地外	数朝地	生化外	二 化 生 数	三历朝政	政历朝	历 政 外	物 外 数	外物化	三外地历	外历数	地外数					
	化朝	朝化	土地数	朝地	数朝	生 化	二 化 生	三历朝	政历	历政	物 外	外物	三 外 地	外历	地外					
3	化朝物	朝化外	三地数外	朝地外	数朝地	生化外	二 化 生 数	三历朝政	政历朝	历 政 外	物 外 数	外物化	三外地历	外历数	地外数					
3	化朝物外	二朝化外物数生	三地数外朝政地	朝地外数	数朝地外历政	生化外数生朝	二化生数外物生	三历朝政外	政历朝外地政	历 政 外 朝 政 数	物 外 数	外物化	三外地历	外历数	地外数					
3 4 5	化朝物外物	二朝化外物数	三地数外朝政	朝地外数地	数朝地外历	生化外数生	二化生数外物	三历朝政外数	政历朝外地	历政外朝政	物 外 数	外物化	三外地历	外历数	地外数					

ある高校の3年生の時間割。月曜日から日曜日まで授業や補習がびっしり。

#### 戸籍所在地で左右される大学受験

大学進学を希望する生徒は、まず戸籍のある地域で実施される高校

卒業認定統一合同試験に合格し、卒業資格を得なくてはいけません。 その後、大学入学のための全国統一入学試験です。出願は5月。最大 5校まで(重点大学2校、非重点大学2校、その他の専門学校)出願できますが、志望校の過去数年分の合格最低点を確認して、自分の実力にあった大学を選びます。

そしていよいよ6月。全国統一試験といっても同じなのは試験日のみで、試験の内容は各省・直轄市などによって異なります。さらに大学の合格ラインも戸籍所在地によって異なります。例えば、中国教育ネットが発表している、2012高考地域別合格ラインによれば、北京大学などの有名大学が属している第一類の大学群のグループとしての最低合格点は、北京に戸籍がある受験生は495点だったのに対し、海南省の場合は668点でした。その上、各学部学科で、「地域別募集人数枠」を定めているため、同じ大学の学部学科であってもどの省に戸籍があるかで合格点は違います。

6月末に各大学から合格通知が届いて、やっと黒い6月は終わります。

#### 入試の多様化

最近は、複数の大学がネットワークを組み、独自の入学試験や面接を実施するケースもでてきました。例えば、有名大学7校(上海交通大学、中国人民大学、清華大学、南京大学、浙江大学、中国科学技術大学、西安交通大学)で構成している「華約連盟」では、7校の共通テスト(Advanced Assesment for Admission、通称AAA測試)と呼ばれる試験を実施しています。上海交通大学では、このAAA測試の成績だけでなく高校時代の成績、受賞歴を基準に面接試験の対象者を選び、4月に独自の面接試験を行っています。7校は面接試験の時期をできるだけずらし、生徒に多くの選択肢を与えるようにしています。そのほか、北京大学や北京航空航天大学など11校が参加する「北約連考」、9校の理工系重点大学で構成される「卓越大学連盟」があります。





**11:20** マリンタワーに到着。



11:25@マリンタワー 山下清の壁画の前で。



**12:00@市営バス** 山下公園前からJR山手駅まで。

のページはどう教えていますか。

王・・・・このページにはそんな意図があったんですね。ここは教えたことがありません。第1課の2人1組の活動から始めています。ひとりが転んで、手を差し伸べてくれたもうひとりに「Gracias (スペイン語で「ありがとう」の意味)」とお礼をいうロールプレイです。生徒は「Gracias」の意味がわかりません。こうやってわからないことばを聞いたときの感覚を体験させるのです。ことばがわからなくても、ジェスチャーや表情で意図がわかることを感じさせます。

**白**……私も知らなかったので、第1課から教えていました。

**王**……でも多文化共生といえば、第2巻60ページの、各国の家庭の様子を紹介したコラムもそうですよね。それに考えてみると、「Gracias」を体験することも、知らない言語の人とコミュニケーションを体験するという点で多文化共生につながっていると思います。

**白**……私もそう思います。第1課では、知らないことば、あたらしいこと ばと出会う瞬間の気持ちを思い起こさせます。そこで「伝えること」の 大切さを生徒たちが理解するようになります。

**加納……**『好朋友』で教えるようになって、何か影響を受けましたか。 日本語教育の考え方や教え方で変わったことはありますか。

**王**……二外を教えることになったとき、一外と同じ教え方で教えようとしました。でも『好朋友』を使うと一外と同じやり方では教えられないんです。文法についての説明が一切ないわけですから。それで、使っているうちに、二外はどうあるべきかと考えるようになりました。一外は受験が大きな目標ですが、二外は受験科目ではない。でも、私の学校では二外が必修ですから、みんながみんな日本語を学びた



え~っ!? おもしろ~い!!

初来日の安新華先生。自動改札で切符が出てきてびっくり!! タッチパネル式の自動販売機、券売機でチケットを買ってから注文するラーメン屋さん、ラーメンとビールをいっしょに頼むお客さん……、見るものすべてが新鮮だった。何よりも印象に残ったのは、休憩もほとんどなく次から次へと予定が組まれていたタイトなスケジュールだったとか。



#### 梅ちゃん先生、梅に感激!

梅ちゃん先生のフルネームは、梅松竹。松竹梅ではない。寒中も色褪せない松と竹、そして寒中に花開く梅は歳寒三友(さいかんさんゆう)と呼ばれ、どれもおめでたいものであって順位はつかない。中国の苗字で「梅」は「互動百科」「百科大全」などによると、136番目に多いようだ。梅という姓は珍しいわけではないが、名に松竹をつけるのはあまりないとのこと。梅は中国国花の有力候補だが、大連ではあまり見られない。

いと思っているわけではない。モティベーションを高めて維持させることはすごく大事なことなんです。そして何よりも二外の目標は何だろうかと考えるようになりました。

**白**……以前は「です・ます」や助詞などの使い方が正確じゃないと細かく指摘していたので、生徒はいつも失敗した感覚を味わっていました。だから間違ったら恥ずかしいと思って、口に出して言いたがらなかったんです。ですが、二外を教えるようになって、ことばはコミュニケーションのための道具で、普段の会話は完璧な文法や文型に則っているわけではない。砕けたいい方でも意味が通じるし、伝わることが大事で、完璧でなくてもいいと思うようになりました。だから、一外の生徒にも、言いたいことを言ってごらん、伝えてごらん、と日本語を口に出すことを大事にさせるようになりました。

**エ**……昨年、研修旅行で20名の生徒を日本に連れてきました。一外、二外の生徒から希望者を募ったのですが、不思議なことに、二外の生徒の割合が高かったんです。それで実際に日本で交流したとき、一外の生徒は間違いを恐れてなかなかことばが出てこないんです。一方、二外の生徒は『好朋友』で学んだ表現、とても簡単な

#### 12:30@横浜市立仲尾台中学校

昼食時間を見学。横浜市立の中学校は給食はなく、 お弁当を持参するか、学校で買う。



#### 444237t23



#### 12:45@校長室

生徒が注文するお弁当4種類を用意してくださった。 1食500円。「早い者勝ちですよ!」と校長先生に促され、エビフライ弁当に手を伸ばす王先生。

のですが、本当に嬉しそうに言うんです。姿勢の違いには驚きました。 『好朋友』では必ず場面があって表現が出てきます。例えば、果物の名前を覚えるときでも、りんごやなし、ぶどうなどの絵を見て順番にただ覚えるのではなくて、「好きな果物を5つあげてください」と問いかけがあります。生徒は本当に好きな果物の名前を挙げて覚えるのです。これが本来の教育だと思います。

加納……『好朋友』で日本語を学んだ生徒は何を身につけたのでしょうか。生徒は変わりましたか。

自……まずは日本や日本語に対する親近感が増しています。それから背景にある日本人の習慣を知ることができます。日本の家を紹介していますが、地域によって形が違います。この違いはどこから生じているのか。また、「あがってください」「おはいりください」というのはなぜか。そうしたことがわかるのです。

**王**……同じです。生徒はある程度日本に対する断片的な文化知識をもっていますが、どうしてそうなのか、その背景や理由、その意味するところについては意識していません。『好朋友』を使うことで、分析したり、理由を考察したりするようになりました。私が特に説明したわけではありませんが、自然とそうなったのです。二外は、ことばの勉強は本来受験のためではなく、使うためのものだということを体験させる役割を果たしていると思います。

**加納……**5日間の研修を終えて、これからどんな授業にしようと思っていますか。

**王**……今回改めて、カリキュラムのつくり方や内容について考えまし

#### ▶▶▶277推む





13:30@教科「情報」

カイワレ大根の発育についてプレゼン資料をつくっていた。ささっとパワーポイントを操る生徒たちに5人の先生方だけでなく、指原校長(左端)も改めてびっくり。

た。大事なのはまず目標を立てること。しかもcan-doで最終ゴールを立てて、そのためにはどんなことが必要かを考えていきたいと思います。今までのように『好朋友』を最初からやっていくのではなく、1~5巻から必要なものを抜き出して、構成しなおして使っていくことになると思います。そして授業ごとに生徒の学習成果を出させて、最終的に何らかの作品を制作し、学校に展示したいです。そうすれば生徒たちが学習に対して自信をもち、興味や関心、達成感も感じることができると思います。

自……最も大事なことだと思ったのは、カリキュラムをつくるときに前もって最終目標を立てておくことです。こうすれば、自分のカリキュラムを明確にしたり、自分の教え方を振り返ったりすることができると思います。そして目標を達成するための学習活動が十分かどうか、自分でチェックできるわけです。また評価方法は多様だと気づきました。自己評価、生徒同士の評価、教師の評価、保護者の評価などがあります。それから試験の点数だけでなく、提出物や関心、意欲、態度など評価の内容もさまざまあることを知りました。授業では生徒が何に気づいたかに注目するべきです。今後は生徒に自分で気づかせたり、考えさせたり、調べさせたりする活動をしたいと思っています。



#### 生徒へのお土産は……

訪ねる先々でパンフレットやチラシを集めていた朴先生。生の情報は、生徒たちへの何よりのお土産になります、とにっこり。帰りに渋谷の店で見つけたクッキーは一つひとつの包装に「ありがとう」「ほんの気持ちです」と印刷されていた。「ほんの気持ちです」を手にした白先生に、同行していた講師の中新井綾子先生が「難しくありませんか。ほかのことばもありますよ」と尋ねると、「大丈夫。高校生ですから、こちらのほうが興味をもちます」。それを聞いて王先生は、「中学生は『ありがとう』がいいですね」。その傍らで、朴先生は両方のクッキーを何袋も買い求めた。

#### 「好朋友」webで学びが広がります ▶www.tif.or.jp/haopengyou

『好朋友』をより深く広く活用してもらうために、Web にさまざまな情報を掲載しています。これらは、中国で日本語を学ぶ中高生はもちろん、日本語を学ばずに保護者と日本にやって来て日本の学校に通う中国籍の小中高校生にとっても役立つものです。

#### ◇マンガ「大連物語」

全5巻のマンガを公開しています。さらに、せりふすべての音声が中国語と日本語で聞けます。

#### ◆Enjoy!マンガ!!

マンガ「大連物語」をもっと楽しめるように、日本の中学校の部活動や中学生の一日を写真で紹介しています。

#### ◆かんたん日本Go!

マンガに出てくるあいさつや気持ちを相手に伝えるための簡単な日本語、相づちの表現を学べます。

#### ◆世界の中高生に会おう!

アメリカ、オーストラリア、韓国、モンゴル、ロシアの中高校生が登場し、自分のことや家族、学校、日常生活などについて紹介しています。 写真から住居や食の違いなどもよくわかります。国際理解教育の素材としてもご活用ください。



14:00@調理室

先生方は興味津々。中国では調理実習を行 うとき校外の施設を利用するため、校内に調 理室はない。



14:10@家庭科室前

展示ケースには生徒の作品がずらり。キャラクターのぬいぐるみや布絵本など、力作ばかり。 こうしたものをつくる授業があること、しかもとても上手なことに、みんな感心していた。

#### 『好朋友』を入手するには

外語教学与研究出版社(北京)国際部、担当・賀蓉さんに

直接メールか電話でお申し込みください。 Email: herong@fltrp.com(日本語可)

Tel: 86-10-8881-9476 (中国語もしくは英語)

『好朋友』仕様: B5判カラー、全5巻、各巻110~130ページ

価格: 各巻24人民元、送料は購入者負担

#### インタビューを終えて

#### 加納陸人

おふたりの先生に共通していたのは、『好朋友』を使用し、生徒たち が楽しく勉強でき、学習意欲が高まり学習効果が上がっていると語 られたことである。このことは、外国語教育の本来のあり方ともいえる。 また、教授法の考え方にも変化が生じている。白先生がひらがなを 教えるときに生徒たちの意欲をうまく引き出し、自律的な側面が生ま れていることである。そして、生徒たちは日本や日本語に対して親し みをもち、文化の背景や理由を意識するようになったという。中国で は現在、中学、高校のどの教科も受験の足枷から逃れることができ ない。そのなかにあって、『好朋友』は現場の先生方や生徒たちに日 本語を学ぶことの意味について、知らないうちに考えさせている。こ のことに一外の教科書を編集したときとは違う手ごたえを感じている。 一方、一外は受験、二外はそこから解放されたものというように 二項対立的な捉え方がみられる。しかし、外国語を学ぶということ は、本来同じ意味をもっているはずである。日本語の学習を通じて お互いを理解し、自分の思いを伝え、新たな気づきや発見をし、今 までなかった視点を身につけていく。そのなかで文化の捉え方を学 び、偏見や差別意識をなくしていくことが大切である。その意味では 人との関係づくりができ、多文化社会で異なる文化をお互いに尊重 し合い共生していく「ともだち日本語」のような考え方が大切になって

Photos: 大木茂 (p.5、p.6左上、p.8右下を除く)



#### 15:00@校長室

授業を見学した後、校長先生、副校長先生と意見交 換。仲尾台中学校のカリキュラムを真剣に見る。評価 法はどうなっているのか、道徳の授業では何をやるの かなどについて質問。





17:30@中華街

国際文化フォーラム通信 no. 98 2013年4月

くるのではないだろうか。



TJFニュースでは、 TJF(国際文化フォーラム)の 活動や、事業に関連する さまざまな動きを ニュースとしてまとめ、 お伝えしていきます。

#### お知らせ

#### ◎TJFの事業を支えてくださっている皆さま

TJFは皆さまからご協力・ご支援を仰いで事業を行っております。1 ~3月は以下の方々からご寄附をいただき、コラボレーターの登録がありました。

#### ○一般寄附金

奥間幸子 様 奥間さつき 様 奥間正英 様 須田美知子 様 とわの森三愛高等学校 様 福田美知子 様 森慶介 様 () コラボレーター

梅澤侑加 様「何ができるかわかりませんが、時間があるときにお手 伝いさせてください。自分にできることは頑張ります」

土田芳雄 様「中学、高校の中国語や英語の会話の補助や手助 けなどをしたいと思っています。必要な学校や学生が いたら紹介してください」

#### ■80時間のコラボが生まれました

昨年4月に新設した「コラボレーター制度」には、現在25名の方々に登録していただいております。日中高校生サマーキャンプの旅のしおり作成、好朋友webの中文翻訳チェック、中国への校長派遣プ

ログラムの広報、来日した黒龍江省教育代表団のアテンド・通訳など、2012年度は、のべ80時間のコラボレーションが生まれました。 皆さまのご支援・ご協力に対して心より感謝いたします。

引き続き、コラボレーターを募集しています。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

#### ▶www.tjf.or.jp/jp/collabo

#### 回めざせ! facebookファン 1,000人

TJFの公式facebookで、「心のこもった事業運営」をお伝えするため、日々のエピソードを発信しています。

先日初めて、1週間の記事へのアクセス数が1,000件を突破しました。TJFの事業をもっと多くの方々に知っていただくため、これからも楽しい話題や感動的な出来事をつづっていきます。

「2013年度はTJFページのファンを1,000人獲得します!」 先日、会議でそう宣言してしまいました……。現在のファンは244 人です。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

▶www.facebook.com/TheJapanForum

(藤掛敏也)

### レポート

#### 広報事業

# さまざまな「りんご」エピソード

3月11日(月)の夕方、TJFの活動に興味をもってくださっている方々を事務所にお招きして、カレーパーティを開催しました。カレー好きのスタッフが手作りして持ち寄ったのは、南インドのホウレン草カレー、豚の角煮カレー、完熟トマト&チキンカレー、ドライカレーなど実にさまざま。カレーという同じ名前の料理の、それぞれにまったく異なる味わいをとてもおもしろく感じつつ堪能しました。

参加者には自己紹介をかねて、「私のりんごは、〇〇です」というテーマで、自分のりんご(=隣語。お隣のことば・外国語、大切なことば)にまつわるエピソードやことばへの思いなどを披露してもらいました。りんごとして挙げられたのは、タミル語、ロシア語、中国語、韓国語、タイ語、さらには日本語、大阪弁、うちな一ぐちまで。「高校のときに出会った中国語が自分の視野を広げることになった」「生徒に英語を教えているが、英語というよりもことばを教えていると思っている。

生徒には、ことばが人をつくり、ことばが人を支えるのだと話している」「仕事でいろいろな国に行きましたが、好きなことばは『再見』『ダスビダーニャ』、つまりいろんなことばでの『また会いましょう』」などなど、心温まるお話を聞くことができました。

これからも、皆さまに 事務所に気軽に集まって いただけるようイベントを 開催していきます。イベン ト情報はfacebookでいち 早くお知らせしますので、 TJF公式facebookの「い いね!」を押して、情報を 入手してください!

(藤掛敏也)



いろいろなりんごが実りました

マンガを描いて見せながら道具の使い方を説明する明徳義塾高校マンガ部の生徒。 「高校生マンガアーティスト」 にメナーシャの生徒たちの目は釘づけだった。

#### 海外の日本語教育促進事業

# 日米の高校生がマンガを通じて交流

米国ウィスコンシン州メナーシャ市の公立小学校、中学校、高校で日本語が学べるようになって今年で20年を迎えました。それを記念して、2月2日から2週間、明徳義塾高校マンガ部に所属する生徒2人と若手マンガ家がメナーシャに招聘されました。また、2月13日の夕方にはメナーシャ高校の図書館で市民向けの公開イベントが行われました。これらはTJFが2011年から3年度にわたり(株)講談社から提供していただいている野間佐和子記念寄附金によって実現しました。

メナーシャでは、子どもたちが少しでも目を外に向け、世界とのつながりを実感しながら育つようにと、地域をあげて外国語教育に力を入れてきました。幼稚園年長から小学6年生まではスペイン語、ドイツ語、日本語のいずれかを必修とし、その後も選択科目として高校3年まで学ぶことができます。日本語履修者は全体の3分の1を占めています。母語(英語)以外のことばを一度も学ぶことなく育っ人の多い米国で、なかでも欧州系のルーツをもつ住民が圧倒的に多い中西部地域にあっては、めずらしい環境といえます。

#### ◎マンガクラブが発足

日本語を学んでいても日常生活で実際に話す機会がほとんどないため、日本の中学校や高校との交流を増やすことがメナーシャで日本語を教える教員たちの長年の願いでした。交流といっても自己紹介をしあって終わるような表面的なものではなく、生徒が夢中になり自発的に交流を続けたくなるような内容にしたいと、昨年春、TJFの仲介で高知県の明徳義塾高校マンガ部に交流を申し込みました。

秋にはメナーシャ高校のマンガクラブが発足し、明徳義塾高校のマンガ部に遠隔「入部」するという形で交流が始まりました。メナーシャ側の部長は、日本語を学びたくて隣の学区から越境通学している熱心な生徒です。日本から「高校生マンガアーティスト」がやってくるというニュースが校内で知れわたると、日本語を学んだこ

とのない生徒までが関心を示し、マンガクラブに出入りして日本語や日本の文化にふれるようになりました。

#### ◎マンガを描き手の視点で見る

明徳義塾高校マンガ部員2人と、同部を指導しているマンガ家がやってきた2週間、中学校と高校で日本語を学んでいる生徒約200人が、Gペンやスクリーン

メナーシャ高校の生徒が描いたオリジナルキャラクター。



トーンといったマンガ専用の道具の使い方を教わり、「オリジナルキャラクターを描こう!」という課題に取り組みました。マンガ家の指導を受け、日本の高校生に手伝ってもらいながら、自分で考えたストーリーのキャラクターを1枚の紙に表現しました。

「日本の高校生は、すごく英語がうまいわけではなかったけれど、話しかけてきてくれたし、お互い何とかわかり合えた」「マンガってひとコマずつ手で描いているんだと気づいた。登場人物の同じ顔を1ページに何回も描くのだからすごい」「ひとつの作品にどれだけの手間がかかっているか知って驚いた」

生徒の感想から、同年代の日本人とコミュニケーションして自信を深め、また、これまで読むだけだったマンガを描き手の側から初めて見て、物事を見る目が変わっていった様子が伝わってきます。明徳義塾高校の生徒はノートにさらさらと絵を描き、周りの生徒たちの賞賛を集めていました。またキャラクターづくりに一緒に取り組むなかで自然に教室に溶け込み、友だちを増やしていました。

#### ◎ 交流活動の作品を市庁舎に展示

生徒たちだけではなくメナーシャの市民にも日本からのゲストとの交流を楽しんでもらおうと、高校の図書館を会場にして一般公開イベントも行われました。生徒が描きあげたキャラクターの絵を展示し、日本文化体験コーナー(日本食とお菓子、折り紙、マンガ描き)を設けた会場は、100人近くの来場者で賑わいました。日本語教育を実施している小学校、中学校、高校の校長や教員はもちろん、近隣の大学の日本語教育関係者も来場しました。

開会式では市長が明徳義塾高校からマンガを教えに来てくれた3人に感謝状を贈呈し、メナーシャで20年にわたって日本語と日本文化に親しむ教育が行われてきたことは市にとって大きな財産だとスピーチしました。また、今回の交流を市民に紹介するため、キャ













ラクターの絵を市庁舎に掲示したいとの申し出にメナーシャ高校の 生徒は大興奮でした。

会場には、日本語を開講してからの20年間を写真で振り返るパネルと、日本語を学んで卒業した先輩たちから寄せられたたくさんのメッセージが掲示され、多くの参加者が立ち止まって見ていました。メナーシャでは公立学校の運営に市民の声が大きく反映されます。日本語など外国語は主要教科ではないため、メナーシャのように素晴らしいカリキュラムと実績をもっていても、地域の人たちの理解がなければ、授業時間が削減されたり、必修から外されたりする可能性があります。国や州の財政難、政策の変化により、教師が減らされかねない環境のなかで、日本語教育がどのように地域の役に立っているかをわかりやすく示すことが求められています。

明徳義塾高校とは今後も交流を続け、メナーシャ市は1年後にまた生徒を招聘する予定です。TJFにとって今年は、2011年から3年計画で実施してきたメナーシャ市の日本語教育への協力の最終年度にあたります。日々全力で生徒と向かい合い、子どもたちを世界につなげるための教育に尽力しているメナーシャの教育関係者をTJFは引き続き支援していきます。 (安藤まどか)

#### 日韓中高校生交流プログラム

# K-POPを韓国の高校生と踊ろう!

日本の中高校生が韓国の高校生とK-POPダンスで交流しながら韓国語を学ぶプログラムが、TJFと韓国・秀林文化財団との共催で3月28日(木)から5日間、ソウルで初めて行われました。参加者は全国に公募しましたが、東京で実施する3回の事前研修と帰国後の報告会に自費で参加することが条件になっているため、応募者は関東在住の中高校生が大半を占めるだろうと予測していました。ところが、北海道、山形、石川、大阪、長崎など全国各地から参加希望があり、当初は定員6人の予定でしたが、応募者の熱意に圧倒され、3人増員して9人のメンバーとしました。

参加が決まった長崎県対馬高校1年生の蓮田なつみさんは、事前研修のたびに対馬からフェリーと夜行バスで14時間以上かけてやってきました。対馬なら釜山まですぐに行けるのに、どうしてお金と時間をかけてこのプログラムに参加しようと思ったのか尋ねてみると、

市民公開イベントの日は、生徒がコスプレをして登校する「コスチューム・デイ」という学校行事の日でもあった。 日本のマンガ『BLACK CAT』の登場人物セフィリアに そっくりな衣装を自作した生徒は、

ー緒につくってくれた祖母をイベントに招いた(写真左)。 浴衣(写真中)や日本の制服風コスチュームの生徒(写真右)もいた。

「K-POPダンスを韓国の高校生と一緒に踊れる機会はほかにないから」と答えが返ってきました。韓国のアイドルユニットSuper Juniorが大好きな彼女は、韓国語を学びたくて、熊本の自宅を離れ、韓国語コースのある対馬高校に進学しました。今回の参加にかかる費用は将来働いて返すからと両親を説得して出してもらったそうです。

金沢に住む中学3年生の西野菜々美さんもSuper Juniorが大好きで、ライブに行ったのがきっかけで、3年前から韓国語を近所の人に個人的に教えてもらっています。

高校2年までダンス部に所属していた荒木さくらさんは、「No Dance, No Life」というほどダンス好きです。みんなでK-POPダンスを踊ることに加え、ホームステイが楽しみで、韓国に家族をつくりたいと語っていました。

志望の動機はさまざまですが、みんなに共通していたのは、韓国 の高校生と交流したい、一緒にダンスをしてみたい、韓国の文化に ふれてみたいという気持ちでした。

#### 圖事前研修で一体感UP!

このプログラムでは、日本側の参加者9人と、韓国側で参加する光新高校の1年生、2年生の9人が二つの混成チームに分かれ、K-POPのダンスユニット「少女時代」の新曲「I got a boy」を一緒に踊ります。息の合ったダンスをするには、ダンスの練習はもちろん、日韓の高校生がコミュニケーションを深め、チームとして一体感をもつことが必要だと考え、事前研修を3回設定しました。

第1回の事前研修では、日本の生徒9人がA3判の用紙に自分の名前や学年、出身地、趣味や好きなK-POPアイドルなどを、写真の切り抜きやイラストも入れて韓国語で書き込みました。そして光新高校の生徒に向け、このシートを手に自己紹介のビデオレターを作成しました。



自己紹介シートを真剣な表情でつくる。

優勝したAチームの、 帽子を投げて決めポーズ。

第2回の事前研修では、光新高校の生徒が作成 した自己紹介シートとビデオレターを見たあと、課題曲 のダンスの練習を始めました。ダンス部に所属してい る生徒が中心となって、練習内容や方法を自分たち で決め、一人ひとりに「少女時代」のメンバー9人の役

割を振って、ミュージックビデオを見ながら1時間ほど汗を流しました。

最後の事前研修では、前回に引き続きダンスの練習をしたあと、 各自の目標を決めました。模造紙の真ん中に自分のイラストを描き、 その周りに「韓国語」「ダンス」「ショッピング」「ホームステイ」「交流」 の5項目についてそれぞれの目標を書き込みました。「韓国語」の目 標には「一日3回以上話しかける」「新しい単語を20以上は覚える」、 「ダンス」の目標には「お互いに教えたり教わったりする」などが書き 込まれていました。

#### 回いよいよ、ダンス! ダンス! ダンス!

3月28日(木)アシアナ航空の協力を得て、韓国金浦空港に降り 立った9人は、入国の第一歩から、憧れの地に着いた興奮にあふ れていました。国立ソウル大学言語教育院の協力によるダンスや買 い物、ホームステイに必要な韓国語を学ぶ3回の授業、光新高校で のチーム分け、ダンス練習、さらにはホームステイと瞬く間に日程が過 ぎてゆきます。

Aチームのメンバーは、西野菜々美さん、이주영(イジュヨン)さん、 山下美誓さん、 박仝영(パクソョン)さん、 이신영(イシンョン)さん、 鄭 世任さん、유지수(ユジス)さん、노세미(ノセミ)さん、荒木さく らさんの9人。みんなで決めたチーム名は、「5SJYMAN」。みんな のイニシャルをとって名付けました。一方、양인서(ヤン インソ)さん、 蓮田なつみさん、황수경(ファンスギョン)さん、服部芽衣さん、三浦 『映郭さん、 나수빈(ナスビン)さん、 山川友梨子さん、 高橋羌夢さん、 이 재 희 (イ ジェヒ) さんの9人をメンバーとするBチームは、各自が一 案ずつ名前を考え、くじ引きで決めることにしました。チームリーダー が引いた紙に書かれていたのは、山川さんが提案した「JKA」中

(時代)」。JAPANとKOREAの頭文字JKに、女子高 生のJKを重ね合わせて、「少女時代」になぞらえたも のです。

ダンス対決当日の31日(日)は、前夜ホームステイ で遅くまで楽しんだ疲れも見せず、東大門にある ファッションビル・ミリオレに集合しました。「少女時 代」の同じ役を踊るABチームの2人がペアとなり、もう

> 韓国日報の記事。Bチームの ダンスの写真が掲載された。

ひとつの企画「ファッション対決 | 用の買い物に知恵を絞りました。

「ファッション対決」では、ミリオレで買ったTシャツや帽子、アクセ サリーなどペアで決めたおしゃれのポイントを、「決めポーズ」ととも に披露しました。

会場の観客による投票の結果、優勝は「少女時代直연(ヒョヨン) 役」の2人、荒木さんとイジェヒさんのペアに決まりました。インタ ビューでおしゃれのポイントはと聞かれた2人は、「デニムの青に帽 子やカチューシャの赤をあわせたところ」と日本語と韓国語で答えま した。受賞後の感想で、イジェヒさんが韓国語で「うれしすぎて死ん でしまいそうだ | と喜びを表わしたあと、荒木さんも韓国語で 「정말 す) | とあいさつしました。

そしていよいよダンス対決。合同で練習した時間はわずかでした

プログラムを報道した新聞に見入る高校生。

#### K팝 마니아 일본 여고생 9명 '서울에서 댄스 댄스 댄스'

한완 중고생 교류 프로그램 춤추며 사업스러 문화 이해\*

. (1일 시원대 전시) 독원대 인기 년 그는 소리 '그리 회원을 '. got a bod 가운데 '살다. 이름의 당임 년 が終いせい 赤 経済が考 まみが 1조시다. 그중 찬 중기인테다 የዘመቀ ፈላተያል(መሙት) ፈልተው 9672 925 U857 (1956): 1 화비스를 다듬하는 지난 전에 함께 스치막 전 면접은 당하면 (prior XC) पान वस्तु इंड इस वास्तु है। इ (영 도) (요도그램 '시즘에서 된스-기사 여자 하는 취 중에 가장되었다. 목



나야 등이다. 이번국에는종교통제가 ·가는 아스지((1)씨는 "노크기서 (\*

5년간 2선들의 1에서 호롱한 CPC - 이 크게 2년 사르니 뒤쪽에게 제품 연

が、両チームとも表現力豊かで、キレのある踊りを見せてくれました。 少し緊張感の残るBチームに比べ、赤い帽子を投げるパフォーマン スのインパクトとやや笑顔が勝ったAチームがわずかの差で勝利しま した。受賞インタビューでも、Bチームよりよかったところは「帽子」と 答えて会場の納得を得ていました。

翌日の「韓国日報」には「K 라 마니아 일본 여고생9명 '서울에서 댄스 댄스 댄스'(K-POPマニア日本女子高生9名'ソウルでダンスダンス')」という見出して、社会面に写真入りで報道されました。帰国の日、バスのなかでうれしそうに新聞を広げる9人の姿が印象的でした。

「ダンス対決」の様子はTJFのfacebookでも紹介していますので、 ぜひご覧ください。

#### ▶www.facebook.com/TheJapanForum

TJFは2013年度も参加人数を拡大してこのプログラムを実施する予定です。詳細が決まり次第、TJFのウェブサイトで告知するほか、メルマガに登録されている方々にお知らせします。

メルマガの登録はRingoウェブサイトのトップページから。

▶www.tjf.or.jp/ringo

(中野敦)

#### 中高生のための韓国語講座

# 「同世代の韓国の中高生と 交流したい」を実現!

学校に韓国語の講座がない生徒を対象に、TJFは駐日韓国文化 院、同世宗学堂と共催で「中高生のための韓国語講座 | を2010年 度から毎年開講しています。TJFは講師と協力して、週1回90分、 全24回のコースのカリキュラムをつくっています。講座の開始前に、 参加者に韓国語を勉強して何がしたいのか、何ができるようになり たいのか聞いたところ、ほぼ全員が「同世代の韓国の友だちをつ くって話ができるようになりたい」と回答しました。そこで2012年度は、 韓国の高校生を招待し、交流会を実施することを最終的な目標に 据えました。さらに、韓国に関する作文を書いてコンテストに応募す ること、韓国語のスキットを練習して「話してみよう韓国語 | コンテスト に参加することも目標に掲げました。1年間を通じて、具体的な目標 を複数設定することで、学習意欲が高まるのではないかと思ったか らです。まず開講後は9月締め切りの作文提出に向けて、その後は、 1月に行われる「話してみよう韓国語」のスキット部門の発表に向け て授業を組み立てていきました。そして、講座最終日の3月9日(土)、 東京韓国学校の生徒がつくる日韓交流・韓国語教育サークル「シ ナブロ | のメンバーを招いて交流会を実施しました。

交流会は、①自己紹介、②一緒に楽しもう(イントロクイズ、ダンスイントロクイズ、K-POPミュージックビデオ鑑賞)、③プレゼント交換の3部構成にし、お茶やお菓子の買い出しを担当するチーム、イントロゲームをつくるチーム、K-POPのミュージックビデオを用意するチームに分かれ、全体の構成をつくりあげていきました。

#### 回盛り上がった交流会

いよいよ交流会当日。自己紹介はみんなの前で一人ずつ順番にするのではなく、近くの人同士で一斉に行いました。緊張させず、すぐに打ち解けてもらうためでした。イントロゲームでは、どの曲にもすぐに複数の手が挙がり、用意していた10曲はあっという間に終わってしまい、K-POPの人気を改めて感じました。そしてもっとも盛り上がったのが、ダンスイントロクイズです。ダンスの得意な生徒3人が、曲のイントロのダンスを踊り、曲名をあてるゲームです。5曲のダンスで、会場は多いに沸きました。ダンスのうまさと同時に、そのダンスを見て、どのグループの何の曲かがすぐにわかる高校生たちばかりで、とても驚きました。

招待された生徒、招待した生徒双方から、「楽しかった! また会いたい」「自分たちの文化に関心をもってくれてうれしかった」と熱い歓びの声が飛び交い、最後に、「シナブロ」の代表から、「今度は私たちが招待します」と力強い提案が出されました。

交流会後、韓国語講座の生徒からは、「韓国や韓国語についてもっと知りたい」「相手は日本語がぺらぺらだった。私もがんばってもっと話せるようになりたい」という声が多くあがり、コース最終日に、学習意欲の強い高まりを感じることができました。具体的な目標に向けて学習を進めたこと、同世代と交流したことの成果だったのではないかと思います。どうしたら講座終了後も学習のモティベーションを維持させ、高めることができるのかを課題としてきた私にとってとてもうれしいことでした。今後もよりよいカリキュラムづくりに参画していきたいと考えています。 (中野敦)

#### 外国語教育促進事業

# 3月は外国語教育を考える月

「3月3日を外国語の日にするのはどうか」。昨年の3月3日、TJFが上智大学国際言語情報研究所と共催したシンポジウムの席上でこう提案されました。その日から1年を経た3月2日(土)、昨年と同じ会場の上智大学で「外国語教育の未来(あす)を拓く」と題したシンポジウムが、一般社団法人日本外国語教育推進機構(JACTFL)と上智大学国際言語情報研究所の共催で開催されました。

吉田、當作両氏が発表のなかで 「外国語学習のめやす」についてふれたためか 市販開始以来最高の61冊を販売。



JACTFLは、さまざまな言語、教育段階の垣根を超えて外国語教育関係者が連携、協力し、日本の外国語教育が長年抱えてきた課題を解決するために、①多様な外国語教育関係学会・団体を横断的に結びつけ、連携・協力を図る組織をつくる、②多様な外国語教育に係る活動についての情報を幅広く提供する場を設ける、③中等教育、特に高等学校における多様な外国語教育の普及を制度的に推進する、ことをめざして、2012年12月3日に設立された組織です。

誕生したばかりの組織が第一弾の活動として開催したシンポジウムは、申し込みを断らなければならないほど関心を集め、当日の会場は200名をはるかに超える参加者で埋まりました。

午前中の基調講演者のひとりだった、吉田研作上智大学教授は、帰国子女が多いクラスに参加した日本育ちの英語学習者が自信を喪失している姿を、世界の国に比べて英語力が低いといわれている日本の姿に重ねあわせたうえで、「自分がもっている力をどうやって生かすのかが問われている。自分を比較するのは他人ではなく自分自身。自分がやろうとしてることをどれだけできるようになるかが大切だ」と熱く語りました。続いて登壇した當作靖彦カリフォルニア大学サンディエゴ校教授は、21世紀の言語教育の理念は、人間形成のための総合的能力の開発であり、それに伴い外国語教育のアプローチは、「何」を教えるかから「どう」教えるかを経て、「なぜ」学ぶかを重視すべきであると強調しました。また、すでに研究等により実証されている数々の外国語学習のメリット——認知能力の発達、短期記憶の向上、創造性の向上、母語、読解、作文、数学の各能力向上等をもっとアピールしなければならないと主張しました。

午後は、境一三(慶應義塾大学、ドイツ語教育)、迫田久美子(国立国語教育研究所、日本語教育)、長谷川由起子(九州産業大学、韓国語教育)、立花英裕(早稲田大学、フランス語教育)、村上公一(早稲田大学、中国語教育)、森住衛(桜美林大学、英語教育・言語政策)の各氏がパネリストとなり、それぞれの立場から、外国語教育の意味やJACTFLに対する期待を述べました。

との発表も示唆に富むものでしたが、特に村上氏と境氏の発表に共感を覚えました。村上氏は各言語の関係者間で、教育方法や学習の場、成果を共有し、協働して教材開発等に取り組むことを提案しました。境氏は日本社会における「共生の(ための)言語教育」の観点から、異なる言語・文化をもつ隣人が増えつつある日本社会で、さまざまな人びとが平和共存できるコミュニティを形成するための言語教育や、(マイノリティーを含めた)他者、他言語、他文化への「気づき」と「自己の開き」に重点をおいた教育を推進する必要があると論じました。

パネルディスカッション終了後には、15人程度のグループに分かれ、自分が考える外国語学習の意義、日ごろ感じている課題、課題

を解決するための提案などを語る時間が設けられました。その時間 に出されたコメントの一部を紹介します。

▶これまで長い間、語学教育(フランス語)を行ってきたが、他の言語の教員の方々と連携をとることはなかったので、大変有意義な機会を得ることができた。

▶英語以外の外国語の大切さが言われるようになって何年にもなるが、英語以外の外国語が開講されている私の勤務校も進学校なので、依然として英語重視である。学校現場との温度差を感じる。

▶論理性をもった発信力、表現力に欠ける学生が多いのは、外国語を学ぶ前の母語教育としての日本語教育の段階で、それらの力が身に付いていないからである。国語教育との連携が必須である。

大いに刺激され、パワーをもらうと同時に、シンポジウムの参加者 として、これからの日本の外国語教育を変えていく担い手のひとりに なりたいと考えた一日でした。

シンポジウムの基調講演、パネリストの発表資料は、JACTFL会 員専用ページで公開されています。詳しくはwww.jactfl.or.jpをご覧 ください。 (水口景子)

#### 2013年1月・2月・3月

## ほかにこんな活動をしました

- ■『国際文化フォーラム通信』no.97「〈考える〉を刺激する」を発行 [1月]
- ■『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育から の提言』(市販版)を発行[1月]
- 第30回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会(日本中国友好協会主催)を後援し、優秀な成績を修めた高校生に国際文化フォーラム賞として賞状と副賞(図書券)を授与するとともに、参加賞として書籍(『中国語はおもしろい』新井一二三/講談社刊)を寄贈「1月/東京
- ■「話してみよう韓国語」地方大会を後援し、各大会で優秀な成績を修めた高校生に副賞として図書券を寄贈[1月/名古屋、東京中高生大会、2月/新潟]
- 日本情報発信サイト「くりっくにっぽん」韓国語版をオープン[3月]
- クムホ・アシアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会に協力 [3月/東京]
- 「外国語学習のめやす」実践ワークショップをJAKEHSと共催[3月/東京]

# 揭示板

#### □『外国語学習のめやす』(市販版)、好評発売中!

『外国語学習のめやす 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』は、発売からわずか3ヵ月で、英語や日本語をはじめさまざまな言語を教えている方々に購入していただいています。教職課程の教科書として活用されている大学の教員もいらっしゃいます。

本冊子は、書店では取り扱っておりませんので、以下の方法でお求めください。

#### (1) TJFの学習のめやすウェブサイトから

#### ▶www.tjf.or.jp/meyasu

「Webで注文」をクリックして、お申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ 送信してください。 税込1,000円(送料別)です。



#### (2) 学会・セミナー等の会場で

言語教育関連の学会などでTJFスタッフが販売しています。 販売を予定しているイベントは左記ウェブサイトの「販売スケジュール」 でお知らせしています。 特別価格900円 (税込) でお求めいただけます。

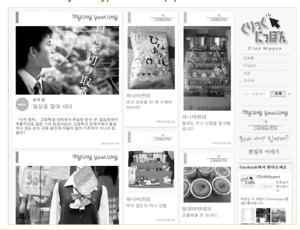
また、「送料タダ!」になる専用の払込取扱票付きチラシもあわせて会場で配付しています。あとで注文される方、友人や知人にも薦めたいという方はぜひお持ち帰りください。価格は税込1,000円です。

ウェブサイトでは、冊子の一部をe-bookでご覧いただけます。また、ユーザーの声も動画で配信しています。授業で活用されたい方は、「実践サポートめやすWeb」をぜひご覧ください。

#### □ くりっくにっぽん韓国語版がオープンしました!

人の内面に迫り、さまざまな人の姿を伝える「くりっくにっぽん」ウェブサイトが、 日本語、英語、中国語に加え、新たに韓国語でも読めるようになりました。日本 の人びとや日本で話題になっていることに興味のある方、韓国語を勉強してい る方は、ぜひご覧ください。

#### ▶www.tjf.or.jp/clicknippon/ko



- ●中国東北三省から来日した5名の先生方は、さいたま市北浦和にある国際交流基金日本語教育センターに泊まり込み、『好朋友』のカリキュラム作成に取り組みました。現在、先生方が授業で大事にしていること、授業の工夫や苦労を共有しながら、日本語教育の意義を再確認し、カリキュラムづくりの方法についても考えました。
- ●期間中ファシリテーターの役割を果たしてくれたのは中新井綾子さんと武田育恵さんです。中新井さんは『好朋友』の編集委員のひとりでもあり、TJFが開催する中国での日本語教師研修会の講師を毎年務めています。武田さんは、大学時代の恩師である加納陸人先生から『好朋友』を紹介されたことがきっかけで、この教科書で教えてみたいと思うようになり、大連市の弘文中学で今年1月まで3年間日本語を教えていました。加えて、『好朋友』を使っている大連の先生方の良き相談相手でもありました。
- ●センターでの研修だけでなく、外出先も学びの場となりました。トマトチーズ鍋をはじめいろいろな鍋が載っているレストランのメニューを手にした白先生は、「このメニューから、日本語のなかの外来語が学べるだけでなく、今の日本の食について生徒たちに気づかせることがたくさんあります」といいます。先輩先生の姿を見て、どんなものでも教材になりうることに気づいた若手の先生方のパンフレット集めが始まりました。横浜の中学で見た生徒のノートにヒントを得た王先生は、今学期から日本語の授業でノートの取り

方を提示してみようと決めました。

- ●先日、インターナショナルスクールで日本語・文化の授業を教えていらっしゃる先生を講師にお願いしてJFで勉強会を開きました。この先生は、21世紀型スキルの育成を目標に掲げ、プロジェクト型学習を授業に取り入れています。勉強会にはスタッフのほかに、「学習のめやす」や「OTOプロジェクト」など、TJFのさまざまなプロジェクトに関わってくださる方々にも集まってもらいました。
- ●勉強会では21世紀の教師像を何かにたとえてみてくださいとの問いかけがあり、参加者から「母なる大地」「お釈迦さまの手」などといろいろな回答がありました。この質問を聞いたとき、私の頭に浮かんだのは「風」でした。風は目には見えないけれど、植物の種を運び、運ばれた種は芽を出し根を張り、なかには大きな木に育って実を結ぶものもあります。『好朋友』を使って日本語のクラスを担当する先生たちが風を起こし、『好朋友』で日本語を学んだ生徒たちが、さまざまな言語や文化が共生するこれからの社会で人間関係を温暖化できる力をもった人に育っていく……。
- ●5名の先生方にはこれから、自ら名付けた「好朋友 宣伝隊」として、研修会などさまざまな場面で活躍し ていただきます。東北三省の日本語ク ラスに起こった風が、中国各地に 種を運んでいく、2013年度をそ

水口景子

んな年にしたいと思っています。



#### 国際文化フォーラム通信98号 2013年4月

発行人 内藤裕之
編集人水口景子
アートディレクション 鈴木一誌
デザイン+DTPオペレーション大河原哲
出力・印刷・製本 凸版印刷 (株)
校閱•校正天山舎
表紙写真大木茂
(横浜中華街の関帝廟前で撮影)

# 公益財団法人国際文化フォーラム

〒112-0013 東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル3階 Phone: 03-5981-5226 Fax: 03-5981-5227 E-mail: forum@tjf.or.jp

www.tjf.or.jp